

# OEC

～自然と環境の保全は足元から～  
特定非営利活動法人おきなわ環境クラブ（OEC）

## ニュースレター

vol.27

2016年12月発行



### 【1面】

- ・「ツワブキロード造り隊」始動！
- ・「OEC ミライヘ・プロジェクト」がスタート！

### 【2面】

- ・活躍するエコガイド  
Peace&Green Boatツアー受入
- ・JICA草の根プロジェクト  
インドネシアの秘境、ワンギ・ワンギ島への行き方
- ・子供たちに自然の素材で遊ぶ楽しさを～木の実の工作～

### 【3面】

- ・マングローブのつぶやき～その9～
- ・JICA研修報告
- ・第2回おきなわエコツーリズムセミナー開催

### 【4面】

- ・活動実績
- ・活動予定
- ・お知らせ

### トピック① 「ツワブキロード造り隊」始動！

10月から新しい緑化活動を始めた。その名も「ツワブキロード造り隊」。国場川左岸の遊歩道沿いに伸びる緑地帯が主な活動場所である。この活動は、OECの新事業「自然と環境の学習の場創り事業」の一環として始めたもの。沖縄に自生する水辺植物の植栽のみならず、学習とエコツーリズムのプログラムや教材を開発し、日常的に実践できる体制をつくり上げる。今年度はセブン・イレブン記念財団の助成を受け、たくさんの苗を準備できた。活動には周

辺で緑化活動を行っているNPO法人「なごみ空間ネットワーク」や、植栽の穴掘り作業などを行う障害福祉サービス事業所「あるにこ」の皆さんも参加し、つながりが広がりつつある。

これまで4回の活動でのべ約60人が参加し、ツワブキやゲットウ、サガリバナなどの植栽を行った。また、周辺の自然観察や、簡単な工作を楽しみながら活動を続けている。

今後も、色々な活動を実施していく。皆さんご参加ください！（業務チーム）



ツワブキの苗。大きくなれ！



親子でゲットウの植栽体験

### トピック② 「OEC ミライヘ・プロジェクト」がスタート！

「仲間とみんなで自然体験をしたい」、「地域貢献活動に興味がある」、「社内研修用のプログラムを探している」「学習旅行のプランを考えている」。そんな皆さんにおすすめなのが、おきなわ環境クラブ

の環境学習・体験プログラム「～沖縄の自然を未来へ～ OEC ミライヘ・プロジェクト」。

このプログラムでは、楽しく学ぶ自然体験を通して、①自ら考え課題に取り

組む②地域に貢献する③仲間や地元の人と交流を深める力を育むことを目指す。皆さんのご要望や興味に合わせてテーマや活動場所を選び、観察会や植栽などの野外活動、自然素材を使った工作や、楽しみながら学びを深めるアクティビティなどを組み合わせた活動を提案している。学校や部活の課外活動、研修やグループワークなどにもおすすめ！バス旅（※）と組み合わせ、一日修学旅行などどうだろうか。おきなわ環境クラブまでお問合せください！（業務チーム）

※旅行手配は、株式会社OEC企画  
(沖縄県知事登録旅行業第2-355号)



みんなで考えてみよう！

## トピック③ 活躍するエコガイド Peace & Green Boatツアー受入

OECはこれまで、自然・生き物・環境問題を解説できるエコガイドを数多く養成し、現在多くの個性的なガイドが活躍して



水族館のようなイノーで歓声を上げる参加者

いる。

8月3日に受け入れたPeace&Green Boatツアーでは、エコガイド3名で『沖縄の自然と環境』をテーマに、韓国人と日本人約40名のグループを国場川河口域と大度浜海岸に案内した。参加者は、ガイドの手ほどきを受けて熱帯・亜熱帯に特有のイノー(礁池)の生き物達に触れたり、青く透き通った海を見たり、とても喜んでいた。

ガイドを通じて国内外の方々に沖縄の魅力を伝え、自然・環境を体感する

感動を届けるためにも、今後、プログラムの内容、認知度やガイド技術の向上に取り組んでいきたい。  
(研究員 当山昌治)

## トピック④ JICA草の根プロジェクト インドネシアの秘境、ワング・ワング島への行き方



図1 秘境は、スラウェシ島のワカビ海洋国立公園内にある



図2 城塞跡地で巨木を見つけた立田リーダー

昨年採択されたこの事業は、開始前調整続行中。今回は秘境である現場への行き方を紹介したい。

実は、離島だが飛行機で行くことができる。図1の赤線の空路だと、①沖縄②羽田③ジャカルタ④マカッサル(1泊)⑤クンダリ経由⑥現地となる。11月のネット検索で、安い往復券はシンガポール航空②④間6万円強、④⑥間は1.6万円。

滞在中のアクティビティとしてダイビング、スノーケル、釣り、オオコウモリ見学、植林、森の城塞跡散策(図2)、料理・工芸体験、市場めぐり等を構想中。

あなたのやりたい「秘境体験」、ゲットしたい「お土産」など、アイディア絶賛募集中!宿泊は、節約さんは村で民泊がおすすめ。余裕さんは青ルートでバリ途中下車、④で延泊観光もよいのでは。  
(研究員 山本朝子)

## トピック⑤ 子供たちに自然の素材で遊ぶ楽しさを ~木の実の工作~

OECでは、環境イベントへブース出展をする際、「身近な自然に親しむ」をテーマに自然の素材を使った工作体験を行っている。

11月19日、20日に行われたJICA国際協力・交流フェスティバルでは、親子・子供を対象に、水辺植物のサキシマスオウノキの種子を使って首飾りやマグネットの工作をした。参加者は、様々な色のペンで色付けをして、自分だけの作品を楽しそうに作っていた。リピーターの子供の作品には、昨年からの成長がみられたと保護者からの感想もいただけた。工作的に植物の特徴や活用方法などを解説

したが、サキシマスオウノキの種子の形が「ウルトラマンの顔に似ている」という話をすると、皆とても関心を持った様子だった。

素材にまつわる面白いストーリーを

伝え、子供が身近な自然に関心を持つように工夫するのがポイント。これからも自然の素材を使った工作を通して、「ワクワク」と「感動」を子供達に伝えていければと思う。

(研究員 当山昌治)



ウルトラマンうまくできた!



動物のマグネット作ったよ♪

## コラム マングローブのつぶやき ~その9~ サクラとバックマングローブ

マングローブの後背地の植物群をバックマングローブと呼ぶ。沖縄ではサキシマスオウ

ウノキやサガリバナ、ユウナ(オオハマボウ)、ハスノハギリなどが代表的。これらの植物は、河口域に生育するため、海水の影響を大きく受ける。国場川河口(漫湖)の南北両岸や『漫湖公園』が、ちょうどバックマングローブの生育域に当たる。

那覇市の『漫湖公園』は、約40年前沖縄県が国場川河口両岸の浅瀬を埋め立て造成し、この地を市に貸与している。この公園は埋立地のため、満潮時には地表面近くまで海水が達すると考えられる。

公園が供与開始された当初、今生育している木々より大きなカンヒザクラが、公園全体に数多く配置された。しかし、それから15~20年後にはすべてが枯れた。古波蔵側公園のジョギング歩道沿いには、当初バックマングローブのクサトベラやモンパノキが植えられていたが、今はサクラ並木を造り、そして公園内側にはサクラが記念植樹さ



ハスノハギリやカンヒザクラが植えられた歩道



れている。このサクラは、年月が経つにつれ枝先から枯れ始め、数年後には幹まで枯れてしまう。

河口の干潟を埋め立てて造成された『漫湖公園』は、沖縄の潜在的な植生として、バックマングローブの構成種が最適と考える。今、当クラブは、サガリバナ並木やサキシマスオウノキ、モンパノキなど、この地に適した植物の配置を那覇市に提案している。  
(会長 下地邦輝)

## 報告① JICA研修報告

7月4日から7週間実施した「島嶼観光持続性強化」コースには、世界中の島嶼国・地域から6名が参加した。観光に関わる政府職員を対象に、「資源の持続的な活用」や「廃棄物管理」、「顧客満足度向上」、「インバウンド客数増加」などを講義・視察や実習を通して学んだ。東村の民泊体験や、「ガンガラの谷」の名案内も体験し、顧客満足度の高いサービスを考えるきっかけとなった。

9月23日から9週間実施した「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営」コースには、中南米地域から11名が参加した。エコ

ツーリズムに関わる方々を対象に、地域の経済活性化と自然・文化保全のバランスを保った観光の企画・運営の実践者を育成し、所属組織に反映することが目的である。沖縄を中心に、静岡の富士宮市や京都へも足を延ばし、地域を巻き込んだ観光振興の真髄や、気付きの大切さを学ぶことができた。また国際交流イベントでは地域の方々との触れ合いも満喫し、忘れられない体験となつた。  
(主任研究員 矢野誠)



富士宮市浅間大社にてコミュニティ観光体験  
(「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム企画・運営」コース)

## 報告② 第2回おきなわエコツーリズムセミナー開催

9月29日(木)に、日本エコツーリズム協会理事の吉見精二氏を講師に迎え、エコツーリズムセミナーを開催した。テーマは「地域資源を活用したエコツーリズムを成功に導くポイント」。会場には20名近くの関心の高い参加者が集まり、吉見氏の盛りだくさんの講話

を聴き、続くパネルディスカッションでは国頭村で森林ツーリズムに取り組む山川安雄氏と当クラブ会長の下地をパネリストに加え、様々な意見を交換した。  
(事務局長 立田亞由美)



参加者にインタビューする吉見氏

# 活動実績（2016年6月～11月）



親子のグループと自然観察中

## 【地域活動】

- ◆さがりばな観賞会  
国場集落:6/25(土)  
首里崎山町馬場通り:7/2(土)・3(日)  
末吉公園:7/9(土)・10(日)

## ◆団体受入

PEACE&amp;GREEN BOAT 2016:8/3(水)

## ◆出前講座

南風原町本部児童館

「アクアプランター作り」:8/10(水)

- ◆第2回おきなわエコツーリズムセミナー:9/29(木)

## ◆自然と環境の学習の場創り事業

- 第1回 ツワブキロード造り隊:10/8(土)
- 第2回 ツワブキロード造り隊:10/22(土)
- 第3回 ツワブキロード造り隊:11/8(火)

- ◆JICA国際協力・交流フェスティバル2016:11/19(土)・20(日)

- ◆第22回 国場川水あしひ:11/26(土)

- ◆おきなわアジェンダ21県民会議  
県民環境フェア in うらそえ:11/27(日)

## 【国際協力】

## ◆受託事業

- ①JICA研修員受入事業:課題別研修  
「島嶼観光持続性強化」:7/4(月)～8/19(金)  
「熱帯・亜熱帯におけるエコツーリズム  
企画・運営」:9/23(金)～11/25(金)
- ②研修支援事業  
企業局「島嶼における水資源管理・水道事業  
運営」:7/11(月)～8/25(木)

# 活動予定（2016年12月～17年5月）

## 【地域活動】

- ◆自然と環境の学習の場創り事業  
第4回～第7回 ツワブキロード造り隊:1月～2月
- ◆第2回 おきなわ水環境セミナー:2/6
- ◆会員交流企画:2月～3月

## 【国際協力】

- ◆受託事業
  - ①JICA研修員受入事業:国別研修  
「ミクロネシア3国水衛生管理」:  
12/5(月)～1/26(木)
  - ②JICA研修員受入事業:課題別研修  
「島嶼水環境の保全と管理」:

1/16(月)～3/10(金)

③JICA草の根技術協力事業

「南東スラウェシ州ワカトビ県における  
地域に根差した環境保全型観光開発の推進」



おきなわ水環境セミナーの様子(昨年度)

## お知らせ

## ①会員交流バスツアー

今年度も実施します！

【時期】3月上旬(予定)

【テーマ】自然と歴史めぐり

詳細は改めてお知らせします。お楽しみに!!

## ②達人デリバリー(出前講座)

## ミライヘ・プロジェクト(団体受入)

お申込み・お問い合わせはこちらまで!

TEL 098-833-9493

E-mail gyomu@npo-oec.com

## ③会員・ボランティア

## 随時募集中！

詳細は下記ホームページをご覧ください

## エコツアー 自然を楽しむ おすすめ7コースのご案内

	タイトル	開催時期	所要時間(目安)
1	街なかシリーズ第1弾 街なかde 自然体験	通年	120分
2	マングローブ染め体験	通年	120分
3	街なかシリーズ第2弾 首里の自然発見!	3～11月	120分
4	ライトトラップを仕掛けてみよう!	3～11月	60～90分
5	イノー(機)で感じる沖縄の自然と歴史	4月～8月	120分
6	ホタル観察へGO!	5月半ば～7月	60分
7	夜咲く南国の花～サガリバナ～	6月～11月	60分

体験プラン検索・予約サイト ACTIVITY JAPANにも掲載! (<http://activityjapan.com/>)

### 特定非営利活動法人 おきなわ環境クラブ



〒902-0075

沖縄県那覇市国場370番地307号室

TEL 098-833-9493

FAX 098-833-9473



## ホームページ

<http://www.npo-oec.com>e-mail [kokuba@npo-oec.com](mailto:kokuba@npo-oec.com)[www.facebook.com/OkiEnv](http://www.facebook.com/OkiEnv)